

投資信託受益者の皆さまへ

明治安田アセットマネジメント株式会社

## 国内株式および債券、為替市場の動向と今後の見通しについて

東北地方太平洋沖地震および長野県北部を震源とする地震により被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

3月14日の国内株式市場、国内債券市場、為替市場とも前週末より大きく変動いたしました。上記地震の経済的被害状況が明らかになりつつある3月14日の各市場の動向についてご説明いたします。

### 記

#### 【国内株式市場の動き】

東北地方太平洋沖地震による国内景気や企業業績への不透明感の拡大、原子力発電所事故に対する不安から投資家のリスク回避の動きが加速し、日経平均株価の終値は9,620円49銭と先週末比で▲6.2%となりました。東証株価指数(TOPIX)の終値は、846.96ポイントと先週末比で▲7.5%となりました。政府が今回の震災による日本経済の被害額が阪神淡路大震災の10兆円をはるかに超える見通しを示していることに加え、東京電力は関東広域において今後の電気の供給力不足を懸念し、計画停電(輪番停電)の実施を発表したことも経済活動への不透明感を拡大させ売り材料となりました。3月12日午後3時ごろの福島第1原発1号機の水素爆発に加え、3月14日午前11時ごろ福島第1原発3号機でも水素爆発が確認され、東京都でも放射線測定を実施する方針との報道も材料視されました。

#### 【国内債券市場の動き】

株式から債券へのリスク回避の動きが加速し、10年債利回りは午後3時時点で1.20%近辺まで低下しました。日本銀行は、総額15兆円の緊急資金供給オペを実施し、潤沢な流動性を市場に供給しました。また本日の日銀の金融政策決定会合では、追加の金融緩和措置がとられるとの観測も強まりました。

#### 【為替市場の動き】

円は、東北地方太平洋沖地震を受けて国内投資家による海外資産の本国回帰が強まるとの思惑から円買い観測が広がり3月14日早朝には一時1ドル80円62銭まで円高が加速しました。その後は、日本政府・日銀による円売り介入観測や中期的な日本の財政悪化懸念から、午後3時時点で82円台前半で推移しています。

(本日の市場の動き)

主要株価指数	終値(3月14日)	前日比	騰落率(%)
東証株価指数(TOPIX)	846.96	▲68.55	▲7.49
日経平均株価	9620.49	▲633.94	▲6.18
10年国債利回り	1.20%	▲0.045%	-----
為替レート(ドル/円)	82.10	▲0.82	▲0.99

為替は三菱東京UFJ銀行の対顧客レート(仲値)

### 【国内株式相場の見通し】

東北地方太平洋沖地震の国内景気、企業業績への影響については、1995年の阪神・淡路大震災と比較すると、原子力発電所の問題と首都圏での計画停電の影響が新たな不透明要因として挙げられます。ただし、日銀による追加金融緩和期待を含む流動性供給の継続、株式ETF(上場投信)の買入に加え、政府と連携して円高回避に向けた取り組みが期待されます。当面、景気への影響など各市場とも不透明感の強い状況が続くと思われませんが、引き続き市場動向等を注視してまいります。

以上

### ご留意事項

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

**設定・運用 明治安田アセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第405号

加入協会：(社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会